

発電所対策本部運営訓練・油火災消防訓練を実施しました

8月1日、原子力災害と設備火災の同時発生を想定し、防災訓練と消火訓練を合同で実施しました。

●発電所対策本部運営訓練

今回の訓練は、竜巻の発生により外部電源※¹が喪失し、その後、非常用の電源設備にも異常が発生したことで原子炉の冷却機能が失われ、原子炉内の水位が低下していくという想定のもとで行いました。

当日は、7月の人事異動による転入者など比較的訓練経験の浅い所員を中心に、対策本部内での指揮・命令や情報共有、社内外への通報・連絡などを行い、対策本部が有効かつ円滑に機能することを確認しました。



的確な指示や情報伝達に取り組む対策本部

●油火災消防訓練

今回の訓練は、発電所構内にある外部電源を受電する変圧器から油が漏れ火災が発生したという想定のもと、火災発生時における通報連絡、防火服の着装、自衛消防隊※²による消防車を使った放水消火活動などを行いました。

当日は、原子力災害と設備火災が同時発生する中、消火活動に専念できるよう分任体制とした自衛消防隊本部の機能性確認するとともに、火災発見から東通消防署員が到着するまでの間、自衛消防隊による初動対応が迅速かつ的確に実施できることを確認しました。

※¹ 外部電源…送電線から発電所に供給される電気のこと、東通原子力発電所には3回線が接続している

※² 自衛消防隊…災害発生時の初期活動や応急対策を行うための発電所内部で組織する消防隊



消火班からの報告を受け
現場の状況把握に努める
自衛消防隊本部



火災現場付近にて防火服
を着装する消火班隊員



東通消防署と連携した放水消火活動

今後も各種訓練を繰り返し行い、緊急時における対応力の維持・向上に努めてまいります。

東通中学校において「メンタルトレーニング教室」を開催しました

7月25日、当社が取り組む次世代支援プロジェクトの一環として、東通中学校の全校生徒を対象に「メンタルトレーニング教室」を開催しました。当日は、トータルビジョントレーニング協会の千葉敦子氏を講師に招き、勉強やスポーツをするうえで、実力を常に発揮できる精神力を養うためのトレーニング方法について学びました。



夢や希望を叶えるには、言葉に出したり想像することが大切と話す千葉講師

講義は、「集中力の仕組みを知ると可能性がみえる」と題し、右脳を使った学習法や潜在意識へ訴えかけるための呼吸法、1日3分でできるトレーニング法などについて、実技を交えて行われました。

生徒からは、「今日覚えたトレーニングを毎日続けるとともに、学んだことを校内に浸透させていきたい」との感想が述べられました。

発電所では、今後も地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援してまいります。

地域の清掃活動を実施しました

●老部川河川敷・河口海岸清掃

7月27日、老部川内水面漁業協同組合が主催する老部川河川敷・河口海岸清掃が行われ、当発電所からも17名が参加しました。

当日は、総勢38名の参加者が、厳しい暑さの中、額の汗を拭いながら、散乱したゴミを約1時間かけて丁寧に拾い集めました。

参加した所員は、河川敷や浜辺の清掃に良い汗を流し、地域の方々と交流を深めることができました。



清掃活動に参加された皆さん



清掃活動に取り組んだ発電所員

●白糠バイパス沿道清掃

7月30日、国道338号線白糠バイパスの沿道約2kmの清掃活動を実施しました。

当日は、晴天の下、発電所員7名が、沿道に投げ捨てられた空き缶や可燃物などのゴミを回収しました。

今後も地域の環境を守る活動に取り組んでまいります。